

=====
ふくしま

2014. 7. 3

復興支援フォーラムニュース No. 71

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)
=====

(第69回 「ふくしま復興支援フォーラム」)

平成26年7月3日

「外国出身県民にとっての東日本大震災・原発事故」

斎藤 隆 (公益財団法人福島県国際交流協会・専務理事)

1 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に関わる外国出身県民等 アンケート調査

(1) 調査の内容

(2) 調査対象者

2 福島県の外国出身県民の状況

(1) 外国人登録者数の推移

(2) 国籍別の内訳

(3) 国際結婚

(4) 在留資格別外国人数

- 3 震災前の地震に関する知識

- 4 証言からみた外国出身県民の地震発生直後の状況

- 5 証言からみた外国出身県民の原発事故への対応

- 6 震災発生時から平成23年3月末まで間の情報収集の方法

- 7 国内と海外の原発事故情報の違い

- 8 震災時の県外又は国外への一時避難状況

- 9 各国政府の避難指示・勧告

1 0 震災前後での外国出身県民の変化

1 1 原発事故（放射線被曝）への不安

1 2 外国出身者コミュニティが行った支援活動

1 3 震災を経験した感想

1 4 まとめ

(1) 外国出身県民の支援者も被災者

(2) 大きなハンデとなる日本語力の低さ

(3) 重要な役割を果たす外国人コミュニティやキーパーソン

(4) 大規模災害時の外国人避難者対策の重要性

第68回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

第68回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。開沼博氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員）から、「『理解の復興』と『生活の復興』・各論を超えて ～福島学構築のプロジェクトの取り組み」をテーマに報告を受け、参加者42名の熱心な質疑応答がなされました。

以下は、会場で文書提出されたご意見などです。

~~~~~

★ 「復興の遅れ」と言って、思考停止になるというのは、面白い指摘だった。（N. I）

★ 人の意識の問題等、わかり易く理解できる機会となった。自分として「復興三方良し」モデルに当てはめて実践を試みたいと思いました。ありがとうございました。（Y. M）

★ 社会全体をメルトダウンさせている社会思想の状況（ex. 正義、倫理、民主主義・・・）これらの再構築が大きな課題ではないか。（H. S）

★ 社会学という多面的な視点から、被災地福島県における諸現象（課題）を適切に分析され、「福島学構築」を目指し、活動されている姿に感激いたしました。（K. F）

★ 福島が象徴化され、言葉が固定化されていく中で、複雑なものを複雑に見せるという開沼氏の手法に期待したい。（Y. T）

★ とても興味深く、福島の現状をどう捉えていくかが問われていると思いました。考え方の柱をもって、今のフェーズにアクションを起こしていることが、非常に参考になりました。エスカーションとインタビューはとても具体的で、わかりやすい取り組みと思いました。（K. O）

★ 観光＝物見遊山のイメージ化に反対。不謹慎。（Y. M）

★ 大変整理された話でした。復興のポイント、原則的なことが話されました。多くの人の指針となるでしょう。一点だけ、時間軸を示すというが大事ですが、今の時点で、どんな時間軸を示せるのか、もう少し聞きたいと思いました。

★ ①エスカーションの話は、県外の友人に、福島の現地を見てもらう時の参考になりました。②いわきという双葉郡出身者の研究者が、真剣に福島の復興を考えている点で、大変励まされました。③社会学者の役割の大きさをずっしりと感じさせられる講演で、眼の覚めるような深く面白い内容だった。（N. S）

★ 福島エクスカージョンの具体的内容を知ることができました。「福島学」の完成。達成を願っています。

★ 「復興」というあいまいな言葉ではなく、具体的な「課題」という言葉を用い、解決策づくりに落とし込んでいく、という手法は、現在、多くの社会活動家が（部分的に）実践しつつも言語化できていなかったもので、「何が必要か」「何をすべきか」を考える際、大変重要な道標となると感じました。とても参考になりました。ありがとうございます！（N.M）

★ 講演スタイルはいまいち良くわからないまま、当日を迎えたが、「理解の復興」はわかるようになった。「無関心の人」を巻き込むことについては、大変興味深かった。前にも書いたが、どの分野でもあてはまることだと思う。（Y.I）

★ とても客観的な（俯瞰した）視点で、“フクシマ”を捉えており、考え方をはじめ、実際の取組みも、とても素晴らしいと感じています。理解されないもどかしさの中でも、私、個人としてもささやかであっても、福島のためにできることをしていきたいと思わせてくれる内容でした。（A.S）

★ 被災地の問題ではなく、全国にある問題の先鋭化だとのことは、全くその通りだと思いました。どうしても個々の問題に目が行きがちで、全体像を示すとの話は、大変参考になりました。ありがとうございました。（K.S）

★ 個人がメディアの時代、現実を見て発信してもらおう。WEB上のかたりべになってもらう。被災地をマイナス・イメージでとらえることなく、原発観光地計画など、発想の転換や柔軟な発想で、長い目で復興に取り組んでいくという必要性を感じました。（K.A）

★ 「安全」を説明することは易しい。しかし「安心」を与えることは難しい。（M.S）

★ 情報発信のやり方など考えなければと感じました。視察の効果的（目的をもって）行うこと等、勉強になりました。科学的、社会的、時間軸など、多角的に問題・課題を見ていく必要性を感じました。ありがとうございました。（Y.Y）

★ 復興という言葉、課題という言葉に変えること、とても良いと思いました。“復興”というあいまいな言葉で、その背景となる問題を見ていないことに気づかされました。（S.K）

★ 復興に取り組んでいく中で、考え方の手がかかり、足がかかりにさせていただきます。これからもよろしくお願いします。（S.K）

★ 福島（被災地）の現状をいろいろな方法で、広く国民に伝えるべきと感じた。（Y.W）

~~~~~  
【予告】第70回フォーラム 2014年7月17日（木）18:30～20:30

「県外避難者の現状と課題」

報告者：富田愛氏（NPO 法人ビーンズふくしま／県内外避難者支援コーディネーター）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」

大活動室1 （MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18）
~~~~~

【予告】第71回フォーラム 2014年8月7日（木）18:30～20:30

「土湯温泉における再生エネルギー（バイナリー発電、小水力発電）事業」

報告者：佐藤英雄氏（福島信用金庫常務理事）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」

視聴覚室 （MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18）  
~~~~~

【予告】第72回フォーラム 2014年8月21日（木）18:30～20:30

「広野町の被害の状況と復興の課題」

報告者：遠藤智氏（広野町長）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」

視聴覚室 （MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18）
~~~~~

【予告】第73回フォーラム 2014年9月9日（火）18:30～20:30

「老人福祉施設における避難及び復興に取り組む現在の課題」

報告者：高木健氏（福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会復興委員会事務局長  
デイサービスセンターゆずのさと 施設長）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」

視聴覚室 （MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18）  
~~~~~

【予告】第74回フォーラム 2014年9月18日（木）18:30～20:30

「福島の小さな町から始まったアート／土湯アラフドアートアニュアルの事例」

報告者：ユミソン氏（現代芸術家／アラフドアートアニュアル総合ディレクター）

会 場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」

大活動室1 （MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18）
~~~~~